

消 防 年 報

令和 3 年版



徳 島 市 消 防 局

はじめに

近年、都市構造の変化や住民のライフスタイルの多様化等により、消防を取り巻く社会情勢は大きく変化して災害や事故の態様もますます複雑・多様化の傾向を強めています。

また、今後30年以内に70～80%の確率で発生すると言われていた津波を伴う南海トラフ地震をはじめ、中央構造線・活断層地震、様々な要因による風水害などの大規模自然災害やあらたな危機事象の新型コロナウイルスのような感染症のリスクの高まりに対して、市民の生命、財産を守るという行政の責務は、従来に増して大きなものとなっています。

このような情勢に対応するため、本市では『強靱で未来へと続く！安心あふれるまち「とくしま」』の実現に向けて、地域、市民、行政が一体となって多種多様な災害から可能な限り被害を軽減させ、迅速な復興が可能な防災力の高いまちづくりを推進しています。

消防局においても急激に変化する災害に対応するため、指揮隊の運用開始、救急救助体制の高度化、救急需要の増大に伴う日勤救急隊「DSAT」の配置等による組織体制の強化、世代を超えた防火・防災意識の普及啓発、次世代を担う小・中学生を対象とした救命講習の実施、「機能別消防団員」の導入等、消防力の充実強化を積極的に推進しているところです。

この年報は、本市の消防行政についてひろく紹介し、各方面の理解と認識を一層深めていただくために作成したものです。

なお、この年報において、何年中とあるのは、暦年間（1月1日から12月31日）、何年度とあるのは、会計年度（4月1日から3月31日）を表しています。

令和3年4月1日

徳島市消防局

徳島市消防の歌

作 詞 阿部 進
作曲・編曲 撫養 光男

The musical score is written on four staves. The first staff begins with a treble clef, a key signature of one flat (B-flat), and a common time signature. The melody starts with a *mf* dynamic. The lyrics are: あさひにかがやき とうとうと きよらにながるー よしのがわ. The second staff continues the melody with *mf* dynamics, then *f* and *mp* dynamics. The lyrics are: ひとのいのちの とうとさに わーがみをていしまもりぬくわ. The third staff continues with *f* dynamics. The lyrics are: れら とくしま しよーぼーの. The fourth staff begins with a *ff* dynamic and includes accents (>) over several notes. The lyrics are: おおしき すがた ここにあり.

歌 詞

- 一 朝日に輝きとうとうと
清らにながる吉野川
人の命の尊さに
我が身を挺し守りぬく
我ら徳島消防の
雄々^{おお}しき姿ここにあり
- 二 紅いそむる夕焼けに
眉山さやかに風がおる
安けき明日を願いつつ
尊き使命にふるい立つ
我ら徳島消防の
築きし誇りここにあり
- 三 明るく晴れた大空に
豊かにのびゆく我が郷土
平和なくらし守るため
日々の備えもゆるぎなく
我ら徳島消防の
永遠^{とわ}の誓いぞここにあり

心おどる水都・とくしま



徳島市民憲章

わが徳島市は、美しい眉山の緑と清らかな吉野川の流れに恵まれ、輝かしい伝統と限りない発展性をもった都市です。

わたしたちは、徳島市民であることに誇りと責任をもち、郷土の繁栄とおたがいの幸福をきずくために、みんなで力を合わせ、みんなで行うべき生活のよりどころとして、この憲章を定めます。

- 1 わたしたちは、まごころをもって助け合い、すべての人に親切にしましょう。
- 1 わたしたちは、健康で仕事に励み、明るく楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 わたしたちは、共同生活のきまりを守り、平和で安全な社会をきずきましょう。
- 1 わたしたちは、自然や公共物をたいせつにし、美しい町づくりに努めましょう。
- 1 わたしたちは、豊かな教養を身につけ、すぐれた文化を創造しましょう。

昭和43年10月1日制定

市制施行 明治22年10月1日
市章制定 明治42年10月9日

市章は置市20年を記念して制定されたものである。阿波藩の記章であった子持筋の下に市の字を配し、円形としたもので、本市が徳島県の中核であることをあらわしている。